



# 2018年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社T&K TOKA

T&K TOKA CO., LTD.

2017年11月14日

# 2018年3月期 第2四半期の実績

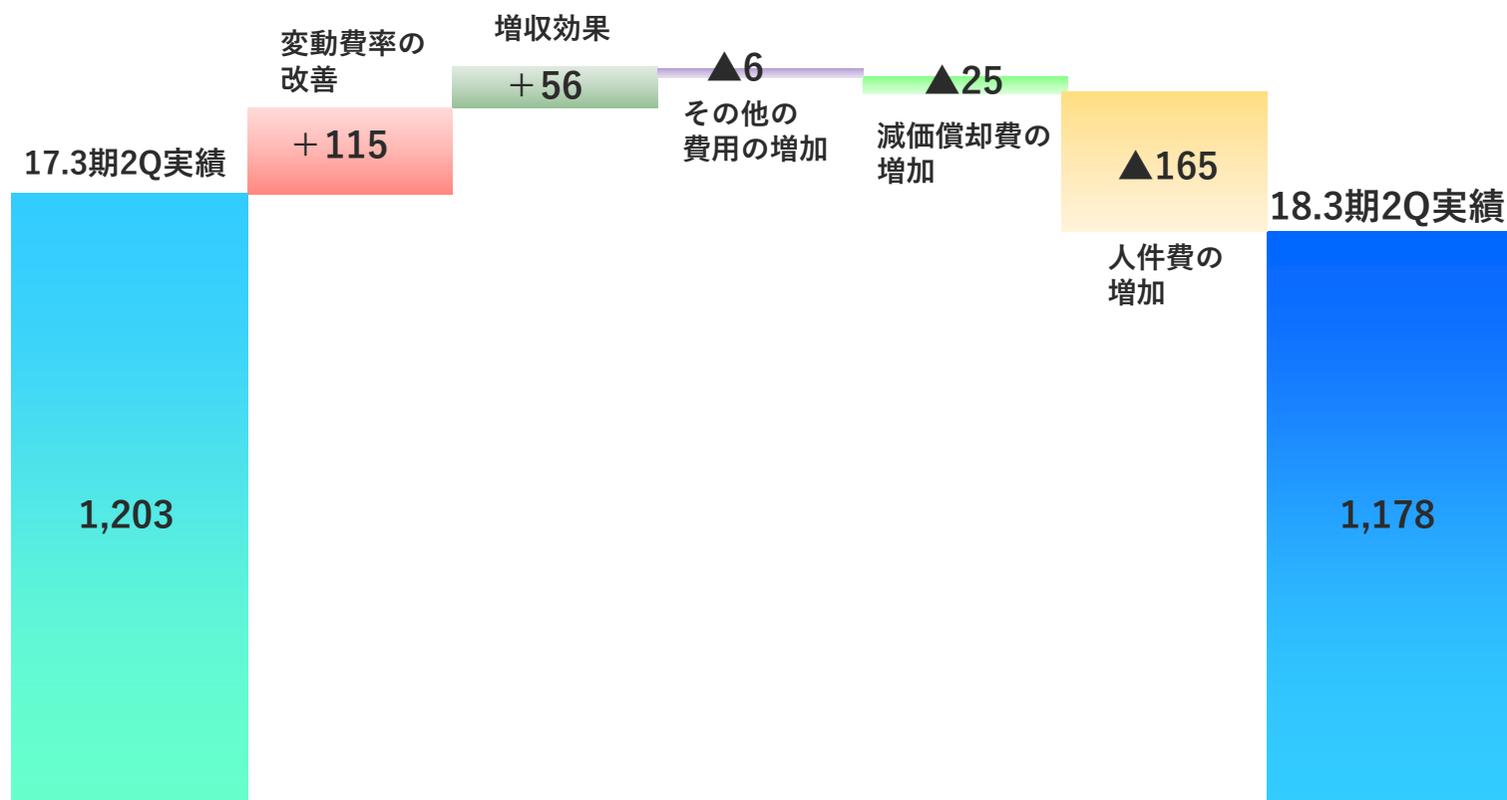
## ▶ 第2四半期連結損益計算書 (百万円)

	16.3期2Q	17.3期2Q	18.3期2Q	当期増減額	増減率
売上高	23,065	23,332	23,520	187	0.8 %
売上原価	18,304 ( 79.4 %)	18,719 ( 80.2 %)	18,769 (79.8 %)	50 (▲ 0.4 %)	0.3 %
売上総利益	4,761 ( 20.6 %)	4,613 ( 19.8 %)	4,751 (20.2 %)	137 ( 0.4 %)	3.0 %
販管費・一般管理費	3,599 ( 15.6 %)	3,409 ( 14.6 %)	3,573 (15.2 %)	163 ( 0.6 %)	4.8 %
営業利益	1,161 ( 5.0 %)	1,203 ( 5.2 %)	1,178 ( 5.0 %)	▲ 25 (▲ 0.2 %)	▲ 2.1 %
経常利益	1,554 ( 6.7 %)	1,372 ( 5.9 %)	1,492 ( 6.3 %)	120 ( 0.4 %)	8.8 %
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,086 ( 4.7 %)	959 ( 4.1 %)	1,055 ( 4.5 %)	95 ( 0.4 %)	10.0 %

## ▶ 第2四半期連結製品別売上高 (百万円)

	16.3期2Q	17.3期2Q	18.3期2Q	当期増減額	増減率
平版インキ	6,146	5,531	5,269	▲ 262	▲ 4.7 %
UVインキ	9,757	9,862	9,921	59	0.6 %
その他インキ	2,619	3,520	3,773	252	7.2 %
その他	1,750	1,700	1,750	49	2.9 %
製品計	20,273	20,615	20,714	99	0.5 %
商品	2,792	2,717	2,805	88	3.3 %
総計	23,065	23,332	23,520	187	0.8 %

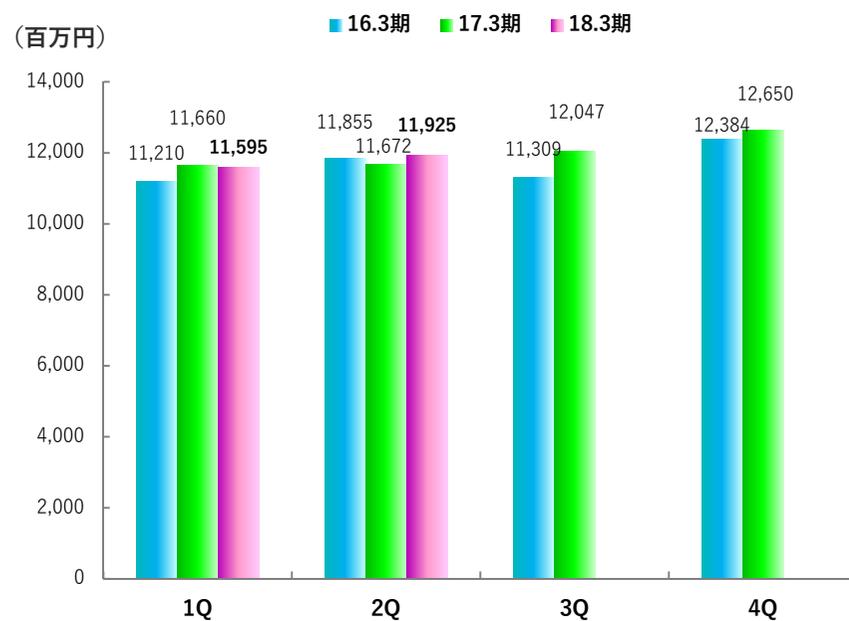
# 2018年3月期 第2四半期の営業利益の増減分析



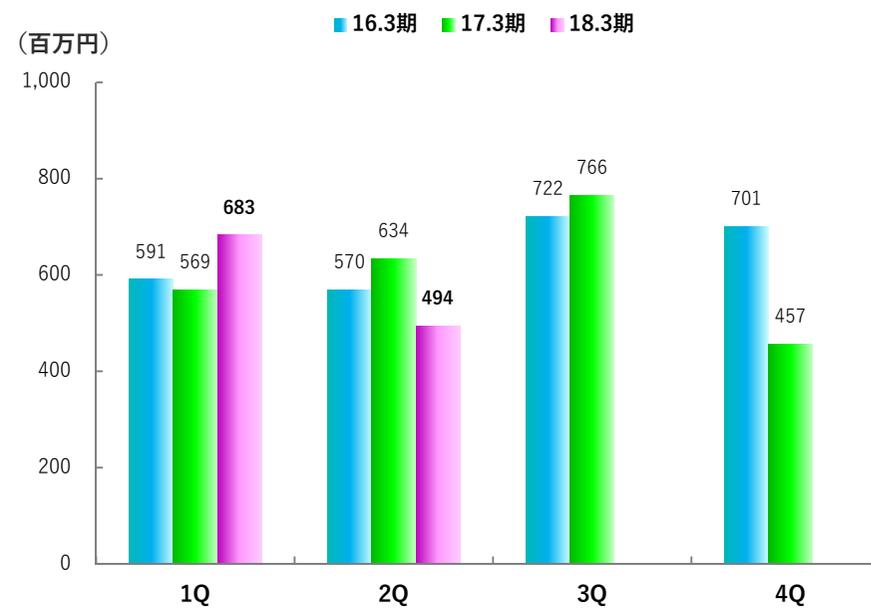
(単位：百万円)

# 四半期ごとの業績推移

## 【売上高の推移】



## 【営業利益の推移】



# 第2四半期連結貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

貸借対照表	16.3期	17.3期	18.3期2Q	増減額	増減率
流動資産	28,953	29,452	28,623	▲ 828	▲ 2.8 %
現金及び預金	6,037	7,077	5,917	▲ 1,159	▲ 16.4 %
受取手形・売掛金	15,818	15,561	16,076	515	3.3 %
棚卸資産	6,204	6,246	6,136	▲ 109	▲ 1.8 %
その他	893	567	492	▲ 75	▲ 13.3 %
固定資産	29,644	30,569	31,868	1,299	4.3 %
有形固定資産	21,238	21,610	22,374	763	3.5 %
無形固定資産	270	221	210	▲ 10	▲ 4.9 %
投資その他の資産	8,135	8,737	9,284	547	6.3 %
資産合計	58,598	60,021	60,492	471	0.8 %
流動負債	13,519	13,850	13,308	▲ 542	▲ 3.9 %
支払手形・買掛金	10,006	9,626	9,651	25	0.3 %
短期借入金	1,619	1,531	1,493	▲ 37	▲ 2.4 %
1年内償還予定の社債	7	7	7	-	- %
固定負債	2,984	2,943	3,033	90	3.1 %
社債	15	8	4	▲ 3	▲ 43.8 %
長期借入金	1,620	1,291	1,126	▲ 164	▲ 12.7 %
退職給付に係る負債	599	584	630	45	7.9 %
負債合計	16,503	16,794	16,342	▲ 451	▲ 2.7 %
純資産合計	42,094	43,227	44,150	923	2.1 %
負債・純資産合計	58,598	60,021	60,492	471	0.8 %

キャッシュ・フロー	16.3期2Q	17.3期2Q	18.3期2Q	増減額	増減率
営業CF	1,786	2,749	1,253	▲ 1,495	▲ 54.4 %
投資CF	▲ 2,194	▲ 1,219	▲ 1,913	694	57.0 %
財務CF	660	▲ 1,910	▲ 668	▲ 1,241	▲ 65.0 %
現金及び現金同等物の期末残高	4,507	2,868	3,014	146	5.1 %

# 2018年3月期予想

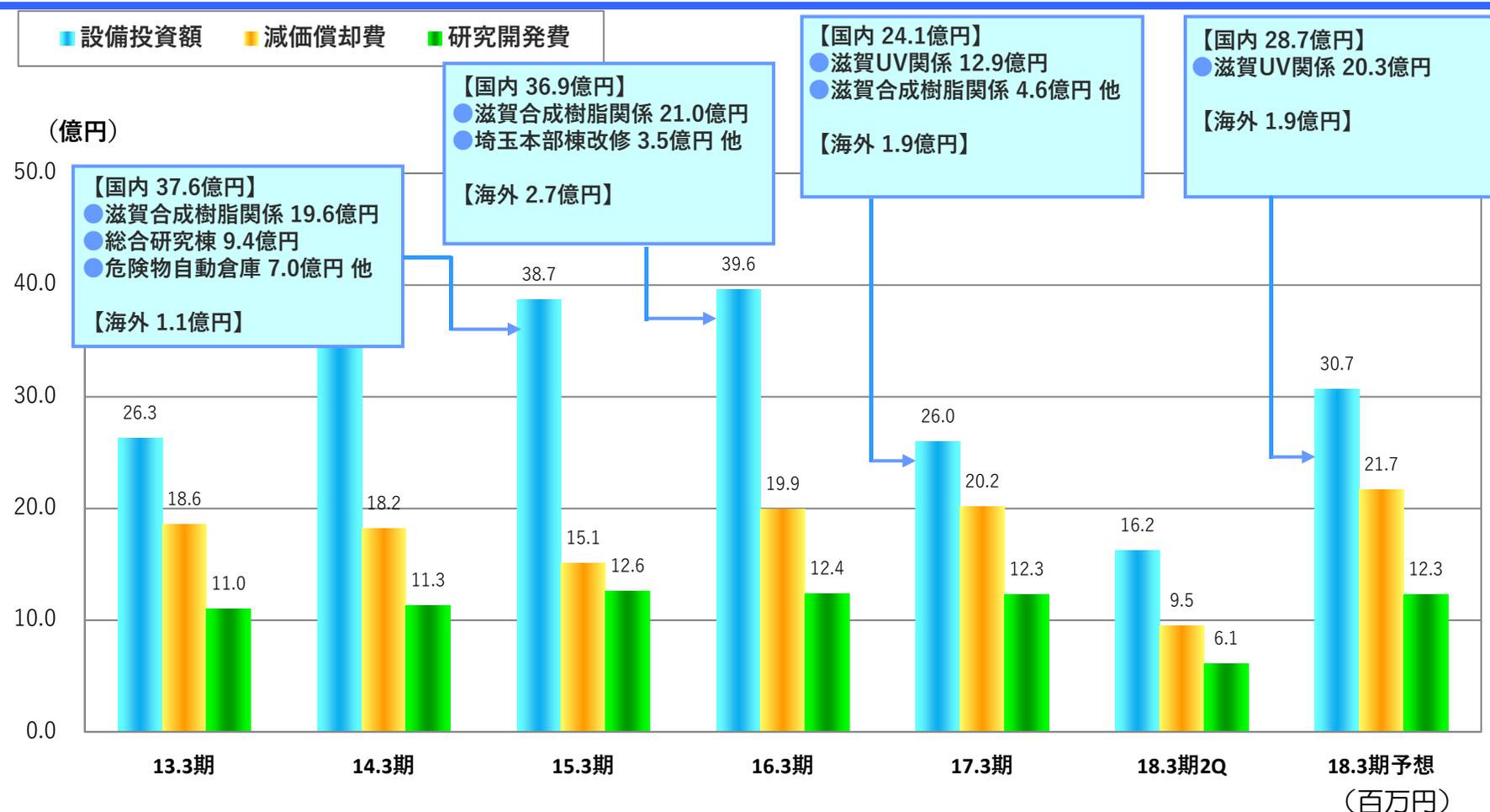
## ▶ 連結損益計算書（百万円）

	16.3期	17.3期	18.3期予想	増減額	増減率
売上高	46,759	48,030	49,100	1,069	2.2 %
売上原価	37,228	38,572	39,280	707	1.8 %
	( 79.6 %)	( 80.3 %)	( 80.0 %)	( ▲ 0.3 %)	
売上総利益	9,531	9,457	9,820	362	3.8 %
	( 20.4 %)	( 19.7 %)	( 20.0 %)	( 0.3 %)	
販管費・一般管理費	6,944	7,030	7,220	189	2.7 %
	( 14.9 %)	( 14.6 %)	( 14.7 %)	( 0.1 %)	
営業利益	2,586	2,427	2,600	172	7.1 %
	( 5.5 %)	( 5.1 %)	( 5.3 %)	( 0.2 %)	
経常利益	3,521	3,175	3,500	324	10.2 %
	( 7.5 %)	( 6.6 %)	( 7.1 %)	( 0.5 %)	
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,512	3,203	2,660	▲ 543	▲ 17.0 %
	( 5.4 %)	( 6.7 %)	( 5.4 %)	( ▲ 1.3 %)	

## ▶ 連結製品別売上高（百万円）

	16.3期	17.3期	18.3期予想	増減額	増減率
平版インキ	12,207	11,613	12,240	626	5.4 %
UVインキ	19,771	20,032	21,070	1,037	5.2 %
その他インキ	5,581	7,273	6,500	▲ 773	▲ 10.6 %
その他	3,622	3,516	3,520	3	0.1 %
製品計	41,184	42,435	43,330	894	2.1 %
商品	5,575	5,594	5,770	175	3.1 %
総計	46,759	48,030	49,100	1,069	2.2 %

# 設備投資、減価償却費、研究開発費の推移



	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期2Q	18.3期予
設備投資	2,631	3,797	3,873	3,966	2,604	1,623	3,072
減価償却費	1,860	1,819	1,516	1,998	2,022	956	2,174
研究開発費	1,103	1,135	1,265	1,242	1,238	611	1,236

# 配当金について

## 配当金

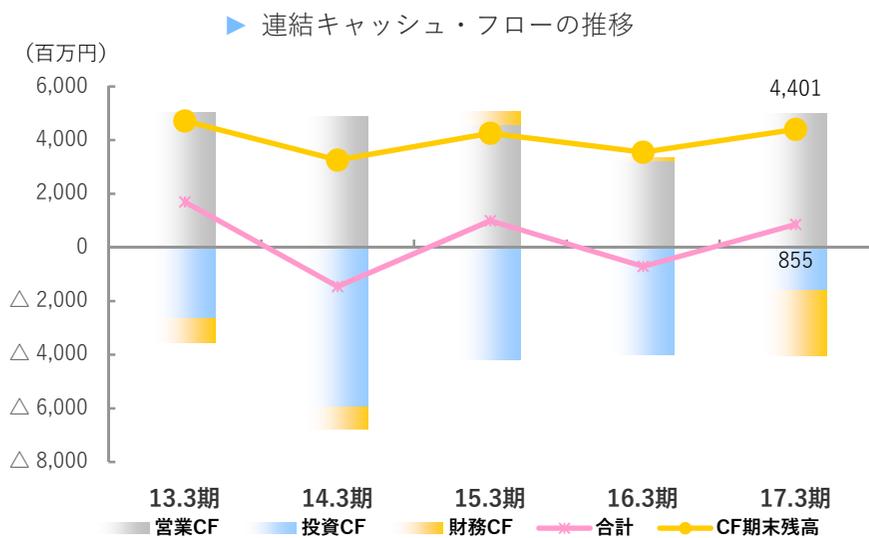
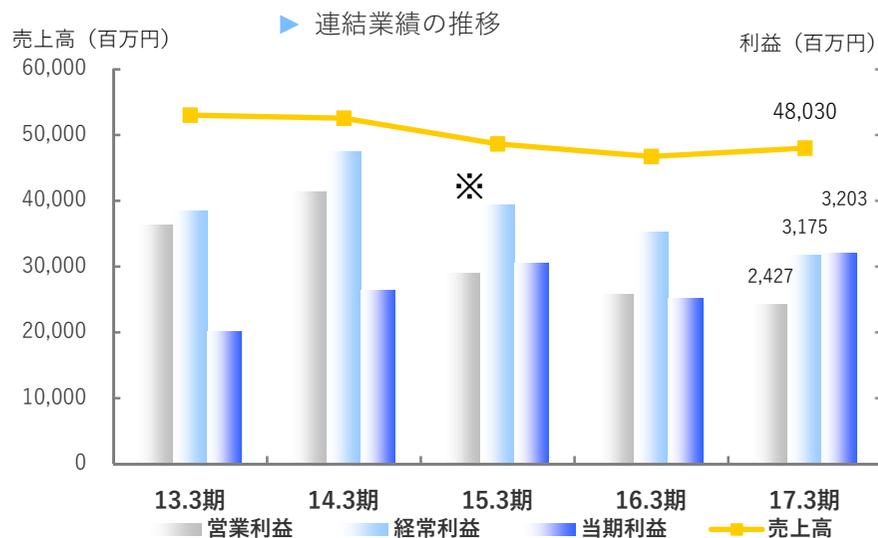
### ■ 2018年3月期 中間配当

**17円の配当（年間配当予想 34円）**

今後も長期的・安定的な配当を維持し、業績伸長に応じた利益還元をしていくことを基本方針としながら、より積極的な株主還元を推進し、連結配当性向30%を目安に実施していく予定

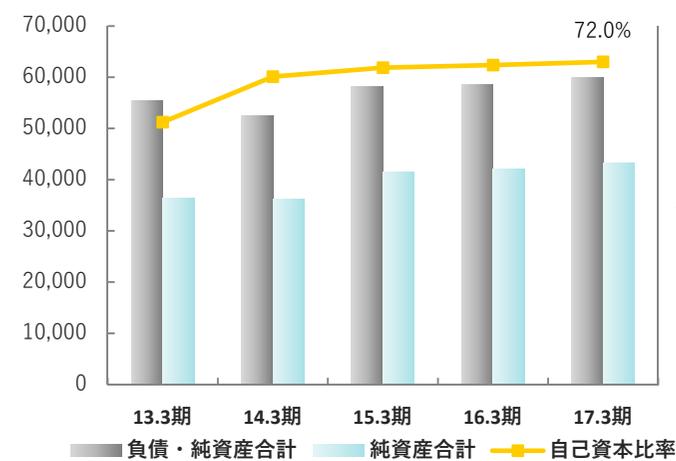
# 業績推移

※ 杭華油墨股份有限公司は、2014年3月期の第2四半期までは連結子会社  
2014年3月期の第3四半期からは持分法適用関連会社のため、連結売上  
減少（杭華油墨から以外に中国本土への売上はございません。）

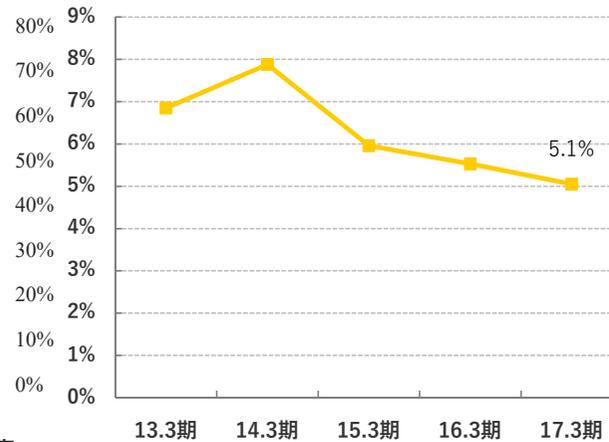


# 経営指標

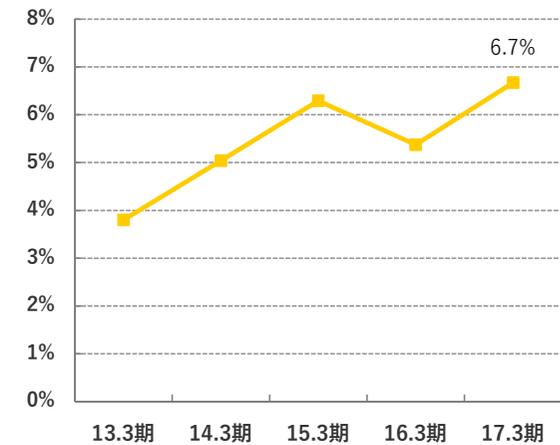
▶ 総資産、純資産、株主資本比率の推移（連結）



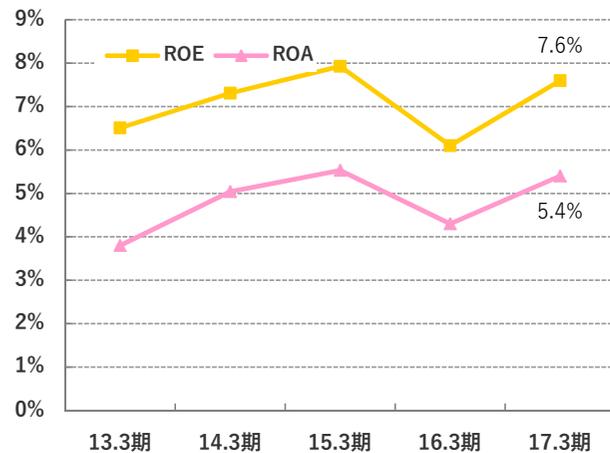
▶ 売上高営業利益率（連結）



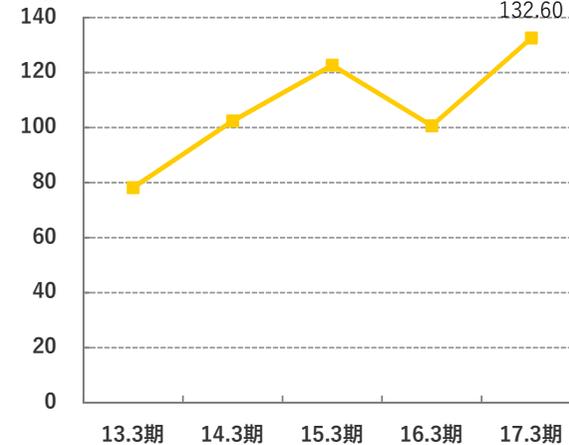
▶ 売上高当期利益率（連結）



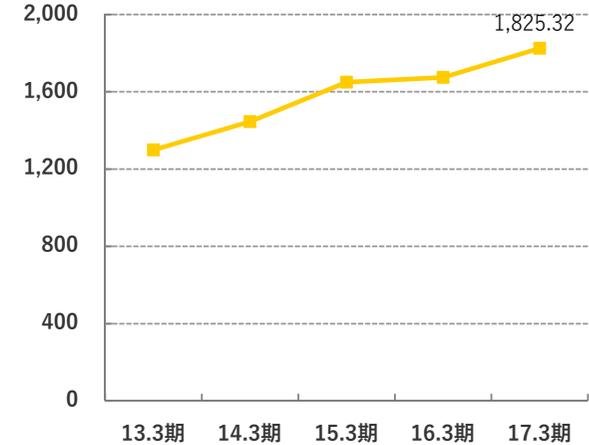
▶ ROE、ROAの推移（連結）



▶ EPS（連結）の推移



▶ BPS（連結）の推移



※2016年1月に1：2の株式分割を実施。

# 2018年3月期の重点課題

## 1) 競争力ある製品の拡販

- ・ 枚葉インキ . . . . . パウダーレスインキ「キレイナ」の積極的展開
- ・ UVインキ . . . . . 新製品「UV CORE」シリーズによる  
省電力UVシェア拡大
- ・ グラビアインキ . . . . . 表刷り用ノトルエングラビアインキ「ピクセスライス」  
拡販によるシェア拡大
- ・ 合成樹脂 . . . . . 潜在性硬化剤のシェア拡大

## 2) 市場ニーズに適した製品開発

- ・ 高付加価値製品 . . . . . 海外（特にEU）向けキレイナ、  
ICチップ・半導体向け改良型硬化剤 等
- ・ 環境対応製品 . . . . . 省電力UVインキ「UV CORE」シリーズにおける  
新タイプ（パッケージ用、OPニス用）の拡充 等

## 3) 市場の開拓

- ・ 9月にアメリカで開催された世界4大印刷機材展の1つ、「Print17」へ出展  
昨年のdrupa2016に続き、キレイナ・省電力UVインキを全世界へアピールし、  
商機・販路の拡大を目指す

## ～企業理念～

# Technology & Kindness 技術とまごころ

## 時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T & K TOKAは、創業から70年、一貫してインキを専業としてまいりました。  
「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすく、いいものを提供していこう」という「まごころ」は70年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけなと強く思っています。  
一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。  
時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応じていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

**IRの問合せ先**  
**株式会社T&K TOKA 財務部**  
**Tel. 03-3963-0511**  
**Mail. toka-ir@tk-toka.co.jp**

**T&K TOKA®**